

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金） 事後評価書

平成 27年 11月 30日

計画の名称	天童市における暮らしの安全・安心まちづくりの推進			
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)	交付対象	山形県 天童市	
計画の目標	暮らしをとりまく水環境について、下水道整備により安全・安心なまちづくりを構築し、快適な市民生活を実現する。			

計画の成果目標（定量的指標）	①下水道雨水函渠整備率を76.3%(H22)から79.0%(H26)に増加させる。 ②老朽化した管渠において、長寿命化計画策定率を0%(H22)から26.5%(H26)に増加させる。 ③老朽化した重要な管渠の地震対策実施率を6.7%(H22)から10.8%(H26)に増加させる。			
----------------	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)							
①下水道雨水函渠整備率 雨水函渠整備済み面積 (ha) / 雨水整備事業認可面積 (ha)	76.3%	78.2%	79.0%							
②老朽化した管渠の長寿命化計画策定率 長寿命化策定済みの污水管渠 (km) / 長寿命化計画を策定すべき污水管渠の延長 (km)	0%	26.5%	26.5%							
③老朽化した重要な管渠の地震対策実施率 地震対策実施済みの污水管渠 (km) / 老朽化した重要な管渠延長 (km)	6.7%	10.9%	10.8%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	879 百万円	A	879 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
天童市公共下水道事業社会資本総合整備計画評価委員会にて実施。	平成27年度 公表の方法 市のホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

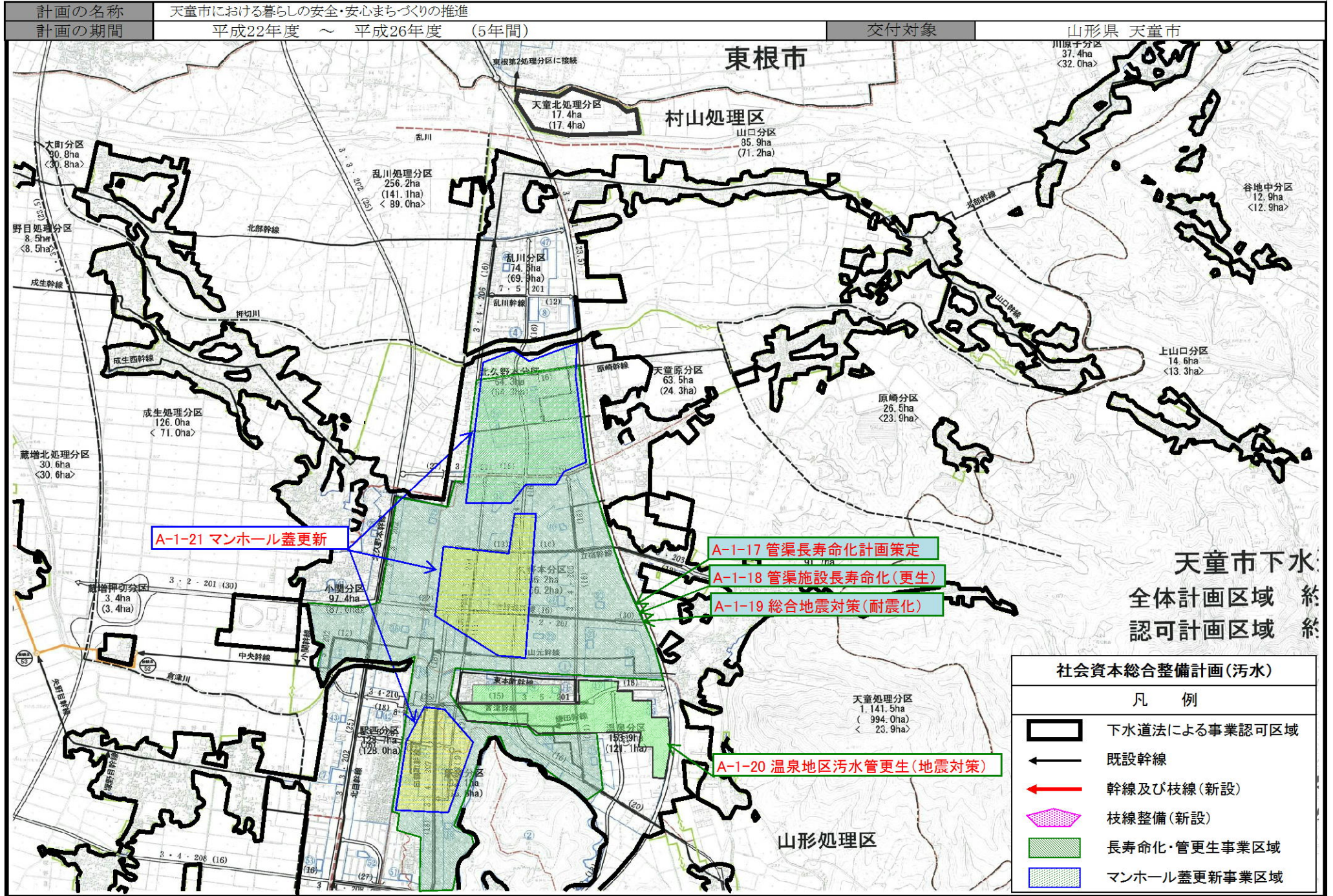
交付対象事業																	
A1 下水道事業（山形処理区）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
A-1-1	下水道	一般	天童市	直接	-	雨水	新設	清池第1号幹線系枝線（浸水対策）	L=350m	天童市						0	
A-1-2	下水道	一般	天童市	直接	-	雨水	新設	清池第2号幹線（浸水対策）	L=630m	天童市						343	
A-1-3	下水道	一般	天童市	直接	-	雨水	新設	清池第3号幹線（浸水対策）	L=250m	天童市						0	
A-1-4	下水道	一般	天童市	直接	-	雨水	新設	倉津川排水区枝線（浸水対策）	L=510m	天童市						155	
A-1-5	下水道	一般	天童市	直接	-	雨水	新設	倉津川第2号幹線系枝線（浸水対策）	L=60m	天童市						37	
A-1-6	下水道	一般	天童市	直接	-	雨水	新設	倉津川排水区調整池（浸水対策）	地下式 V=2,500m <sup>3</sup>	天童市						0	浸水対策
A-1-7	下水道	一般	天童市	直接	-	雨水	新設	日光第2号幹線（浸水対策）	L=150m	天童市						20	
A-1-17	下水道	一般	天童市	直接	-	汚水	改築	管渠長寿命化計画策定	調査L=20km	天童市						80	長寿命化
A-1-18	下水道	一般	天童市	直接	-	汚水	改築	管渠施設長寿命化（更生）	管L=6km、マンホール9箇所	天童市						66	長寿命化
A-1-19	下水道	一般	天童市	直接	-	汚水	改築	総合地震対策（耐震化）	耐震L=500m	天童市						92	総合地震
A-1-20	下水道	一般	天童市	直接	-	汚水	改築	温泉地区污水管更生（地震対策、長寿命化）	L=1,000m	天童市						68	長寿命化
A-1-21	下水道	一般	天童市	直接	-	汚水	改築	マンホール蓋更新	N=1,000箇所	天童市						18	
合計											879						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
					-												
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
C-11	下水道	一般	天童市	直接	-	データベース	老朽管渠施設データベース構築（効果促進）	管渠調査資料のデータベース化	天童市						0	
C-12	下水道	一般	天童市	直接	-	改築	末端管渠更生（効果促進）	L=700m	天童市						0	
C-13	下水道	一般	天童市	直接	-	改築	末端管渠マンホール蓋更新（効果促進）	N=200箇所	天童市						0	
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C-11	基幹事業(A-1-17)で行う長寿命化計画策定において調査した汚水管渠データを今後の効率的な改築等に活用するため、その他の調査及び維持管理データを含めた下水道施設データベースを構築する。															
C-12	基幹事業(A-1-18)で行う幹線管渠更生と連続する末端管渠の更生を一体的に行うことにより、管の破損による道路陥没や、流下阻害を防止、都市活動を確保する。															
C-13	基幹事業(A-1-21)で行う幹線のマンホール蓋更新と近接する末端管路のマンホール蓋について一体的に更新することにより、道路交通の安全性を向上させ、都市機能を確保する。															

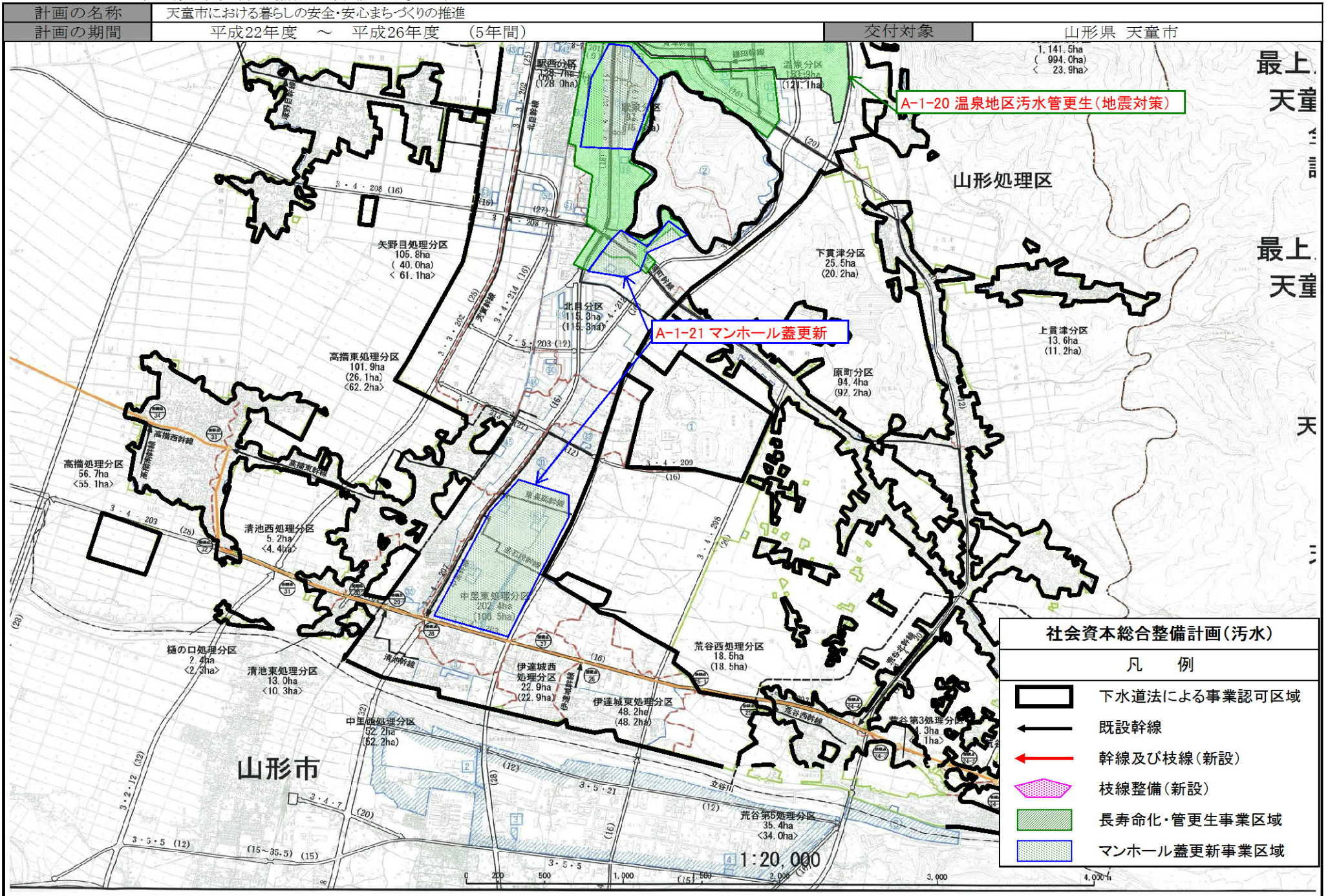
※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水対策による浸水被害の軽減に寄与した。</li> <li>・下水道施設の調査・改築事業等の長寿命化対策による施設の適正な維持管理によって市民生活の安全の確保に寄与した。</li> <li>・下水道施設の耐震・防災対策によって緊急輸送路・避難道路等の安全の確保に寄与した。</li> </ul>			
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道雨水函渠整備率）	最終目標値	79.00%	目標値と実績値に差が出た要因	清池第2号幹線、倉津川排水区枝線等の整備により、平成26年度末で79.0%達成。
		最終実績値	79.00%		
	指標②（老朽化した管渠の長寿命化計画策定率）	最終目標値	26.50%	目標値と実績値に差が出た要因	平成26年度末の策定率は平成23年度当初の策定率26.5%から変化なし。
		最終実績値	26.50%		
	指標③（老朽化した重要な管渠の地震対策実施率）	最終目標値	10.80%	目標値と実績値に差が出た要因	天童大江線等の県道に埋設された管渠の更生工事を実施したため、平成26年度末の重要な管渠の地震対策実施率は23.9%達成。
		最終実績値	23.90%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画区域内の下水道整備がほとんど完了し、今後は未普及解消事業から浸水対策事業と老朽管の改築・更新事業を実施していく。</li> <li>また、施設の適切な維持管理のため、長寿命化対策事業計画を策定し、効率的な改築・更新事業を推進する。</li> </ul>					

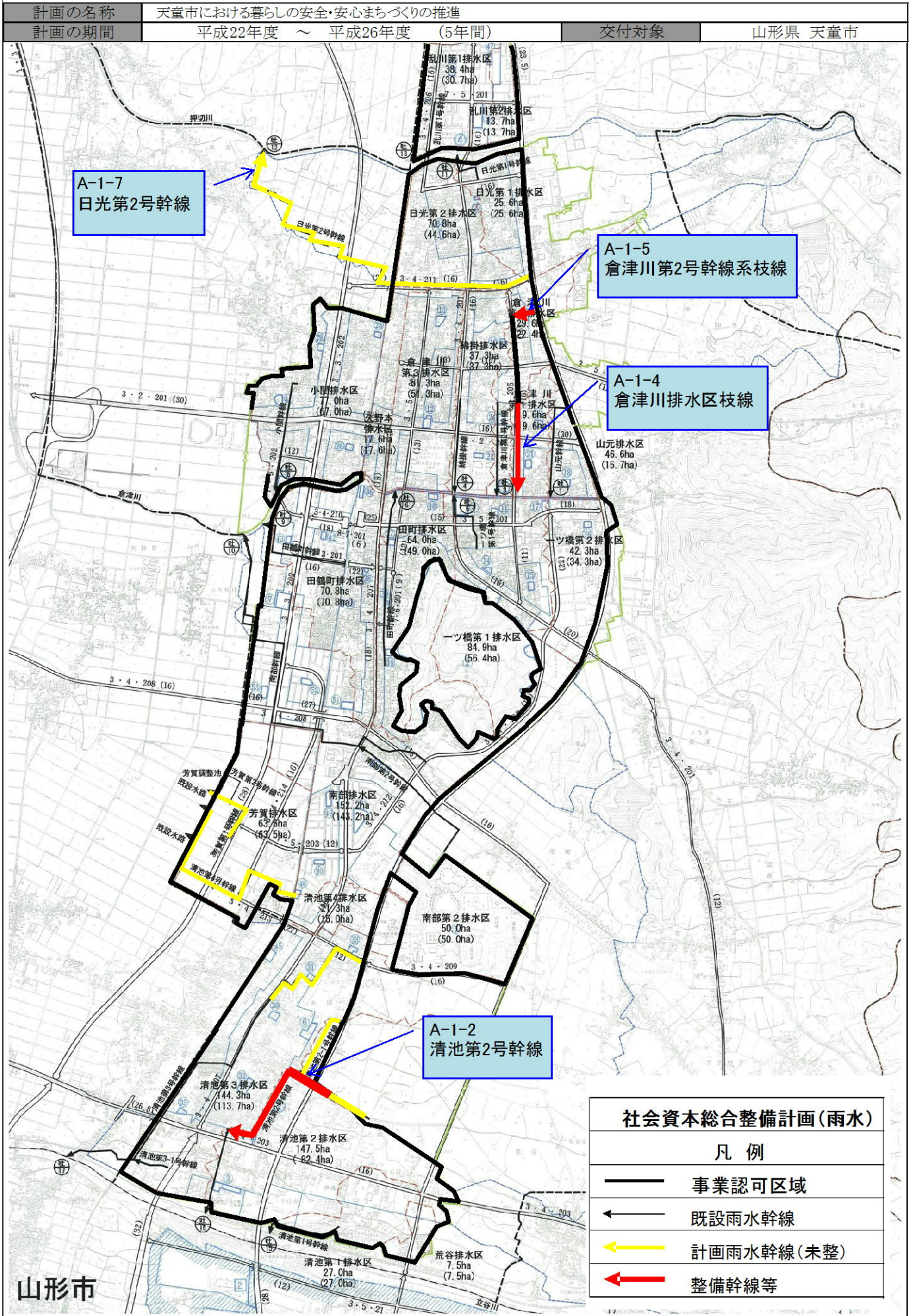
(参考図面) 社会資本総合整備計画書(防災・安全)



(参考図面) 社会資本総合整備計画書(防災・安全)



(参考図面) 社会資本総合整備計画書(防災・安全)



社会資本総合整備計画(雨水)

凡例

- 事業認可区域
- 既設雨水幹線
- 計画雨水幹線(未整)
- 整備幹線等

山形市